

別紙様式 1

令和5年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立あすたむらんど	施設所在地	板野郡板野町那東字キビガ谷45-22
指定管理者名	株式会社ネオビエント	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課	にぎわいづくり課	【連絡先】	088-621-2132

1 施設の概要

設置年月日	平成13年7月1日
設置目的	科学に関する体験及び人と人との交流の場を提供することにより、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に資するため。
施設内容	吉野川めぐり、子ども科学館（プラネタリウム）、くつろぎ館、冒険の国、探検の国など
利用料金等	徳島県立あすたむらんどを設置及び管理に関する条例に定めるとおり
開館日・休館日等	8月12日から8月15日までを除く期間の水曜日（水曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）とする。

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	①徳島県立あすたむらんどを設置及び管理に関する条例第2条各号に掲げる事業の実施に関する業務。 ②あすたむらんど施設等の維持管理に関する業務。 ③あすたむらんど利用の許可に関する業務。 ④あすたむらんど使用料の徴収に関する業務。 ⑤その他あすたむらんど管理に関し、知事が必要と認める業務。
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 52 名 臨時職員 18 名 計 70 名
	正規職員：49名、パート：13名、非常勤1名

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R5年度	42,472	57,010	25,018	32,574	47,163	30,301	46,582	33,659	78,938	31,125	25,970	33,555	484,367
	前年度	34,376	51,920	23,317	22,839	35,484	22,602	55,937	33,899	69,365	29,045	22,716	37,063	438,563
	前々年度	21,646	18,314	12,909	18,314	22,304	19,318	44,139	49,732	91,547	30,642	13,987	29,603	372,455

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R5年度	5,641	6,408	3,444	7,173	13,036	5,650	5,084	4,358	9,840	5,328	3,385	5,302	74,656
	前年度	4,148	7,379	3,095	4,435	9,325	3,353	5,637	3,399	8,690	4,236	2,266	4,907	60,876
	前々年度	3,307	1,498	1,754	4,176	6,629	3,197	4,970	5,306	9,502	4,885	1,326	3,907	50,457

施設毎 利用料金収入 (千円)		カレイドシアター	吉野川めぐり	科学館	プラネタリウム	多目的ホール等	計
	R5年度		36,846	27,232	10,289	288	74,656
	前年度		25,731	27,099	8,044	2	60,876
	前々年度		22,837	21,439	6,133	48	50,457

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		R5年度	R4年度（前年度）	R3年度（前々年度）
収 入	指定管理料	639,920	636,072	636,072
	利用料金収入			
	事業収入	14,010	11,600	8,648
	その他	11,565	11,123	
	計	665,495	658,795	644,720
支 出	人件費	222,836	227,051	295,196
	管理運営費	416,274	421,835	349,524
	事業費			
	その他			
	計	639,110	648,886	644,720
収 支		26,385	9,909	0

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	・ イベント実施前に、複数の取引先から見積を徴収し、価格交渉を行うことで経費削減に努めている。 ・ 経費支出について職員全体で共有するため、月例会議や担当者会議などをおして協議を行い、経費削減意識の向上に努めている。 ・ 修繕等について、全て業者に委託するのではなく、可能なものは職員で修繕し、コスト削減に努めている。 ・ 企業、団体との共催事業を実施しており、経費の削減に努めている。
サービス向上の取組	・ 元JAXAの科学館部員によるリスクアセスメント研修を実施し、低減対策や各自の意識向上に努めている。 ・ 施設単独の情報発信だけではなく、利用者がSNSにて情報発信及び拡散できるような季節性イベントを実施し、幅広い年齢層への情報拡散を実施することができた ・ 様々なSNSを活用し、利用促進に努めている ・ 「森のマルシェ」など来園者のことを考えた新規イベントを開催している

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	独自の財源のみではなく、助成金や協賛金を獲得し、 ・ 「女子中高生の進路選択支援プログラム」 ・ 「明日多夢子ども会社」 ・ 「森のマルシェ」 など多くの自主事業を実施しており、前年度に比べ来園者を増加させることができている。 中でも、「森のマルシェ」については、出店者・来園者双方の満足度が高く、普段より幅広い客層が来園した。
----------	---

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	来園者アンケートやイオン系列店舗へのチラシの設置、職員での会議を行い、利用者のニーズに応えながら施設の円滑に運用している。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	より幅広い客層の来園者を増やすために、新規自主事業として「森のマルシェ」を実施。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	修繕等年次計画に基づき修繕を行うとともに、日頃の巡回等により発見した緊急を要する修繕箇所などは、県に報告したのち、修繕を行っている。 また、過去に監査で指摘を受けた事項である費用の支払いについては、経理専用ソフトとエクセルのダブルチェックを実施している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	経費支出のPDCAサイクルを職員全体で共有するため、経費管理を行う総務部だけでなく全部門において、光熱水費や消耗品などの固定費について月例会議や担当者会議などをおして協議を行い、経費削減意識の向上に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	防火管理者、危険物取扱者などを配置し、安全で適正な業務執行に努めており、園内ほか指定管理者と横の連携をとりながら研修を実施している。 BCPの認証を取得し、災害時におけるリスク管理意識醸造に努めている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	業務体制報告書に記載されたとおりの体制が確保されている。 ノー残業デーを設けるなど、超過勤務縮減のための取り組みを実施している。 昨年度に引き続き、産業医と相談しながら、メンタルヘルス、健康管理、作業環境などの意見交換を実施している。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	インターンシップ制度を設けるなど、職員・スタッフの地元採用に努めている。 業務委託については技術的な制約がある場合を除いて、地元企業への委託を優先している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	徳島県各部局、徳島県教育委員会、板野町教育委員会、大塚製薬、とくしまマラソン実行委員会と連携し多種多様なイベントを実施している。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	指定管理者はBCPの認定を受けており、災害等発生時に備えている。 情報管理に関してプライバシーマークを取得している。 あすたむらんど内の他指定管理者と連携して消防訓練を実施している。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	園内の草木をたい肥にして再利用している。 節電、節水、裏紙の再利用など小さな取り組みを大切にしている。 SDGsの項目内の 「気候変動に具体的な対策を」 「海の豊かさを守ろう」 「パートナーシップで目標を達成しよう」 を対象とした利用促進事業を開催しており、利用者を楽しみながら環境対策を意識付けできる工夫を実施している。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	関係法令を遵守し、法定点検など適正に行っている。 情報公開に関する規程を整備している。 また、業務手法の改善に取り組んでおり、支払い状況の管理方の変更、電子インボイス制度の研修会に参加するなど、知識の吸収にも務めている。
総合評価	A	新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた施設運営ができており、入園者数も令和元年度と遜色ない数値となっている。 コロナ禍でも集客事業ができるように多種多様な工夫を実施し、園の目的に沿った運用ができていえる。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

令和元年度と比較して、来園者は若干増加になってきている。今後も自主事業や利用促進事業を企画し、様々な客層をターゲットに企画の段階からブラッシュアップしていく必要がある。

また施設の規模が大きいため、光熱費高騰の影響をかなり受けている。節電の観点からも設備を新しくする必要がある。

また、各遊具についても故障や事故がないように重点的にメンテナンスを心がけて運営していく必要がある。